

## 長野県工業技術総合センターの沿革

2005(平成17)年4月から

平成17年(2005年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長野県工業技術総合センターに組織改正 技術連携部門・総務部門および、以下の4技術部門を設置             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 材料技術部門(長野市)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 材料化学部・金属材料部・設計支援部・製品科学部(4部)</li> </ul> </li> <li>○ 精密・電子技術部門(岡谷市)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 測定部・加工部・化学部・電子部(4部)</li> </ul> </li> <li>○ 情報技術部門(松本市)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 情報システム部・通信基盤部・人間生活科学部(3部)</li> </ul> </li> <li>○ 食品技術部門(長野市)                 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 食品バイオ部・加工食品部(2部)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
平成20年(2008年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報技術部門に「地域資源製品開発支援センター」を開設</li> </ul>
平成21年(2009年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報技術部門を「環境・情報技術部門」に組織改正、通信基盤部を廃止し環境技術部を設置</li> </ul>
平成27年(2015年) 3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域資源製品開発支援センターが「第4回地域産業支援プログラム表彰(イノベーションネットアワード2015)優秀賞」を受賞</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品技術部門に「しあわせ信州食品開発センター」を開設</li> </ul>
平成29年(2017年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精密・電子技術部門を「精密・電子・航空技術部門」に組織改正、航空機産業支援サテライト(飯田市)を設置</li> </ul>
平成30年(2018年) 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成30年度「工業標準化事業表彰 経済産業大臣表彰(組織)」を受賞</li> </ul>
平成31年(2019年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境・情報技術部門にAI活用/IoTデバイス事業化・開発センターを開設(県有施設で初の『ZEB』)</li> <li>● 食品技術部門に「しあわせ信州食品開発センター機能性食品等開発拠点」を開設</li> </ul>
令和3年(2021年) 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域資源製品開発支援センターが「令和2年度ふるさとづくり大賞地方自治体表彰総務大臣賞」を受賞</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 材料技術部門に「3Dデジタル生産技術実装化研究拠点」を開設</li> </ul>
令和4年(2022年) 4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 精密・電子・航空技術部門に「次世代高速通信モジュール評価試験拠点」を開設</li> </ul>

前施設の沿革（平成 17 年 3 月まで）

長野県工業試験場

昭和 14 年(1939 年) 4 月	● 長野工業試験場を長野市若里 5 0 0 番地に設置
昭和 19 年(1944 年) 3 月	● 長野工業試験場を廃止
4 月	● 長野工業指導書を長野市若里 1 8 8 番地（現地）に設置
昭和 29 年(1954 年) 4 月	● 工業試験場に改称
昭和 39 年(1964 年) 5 月	● 庁舎建物が全面改築
昭和 50 年(1975 年) 11 月	● 付置機関として工業技術開発センターを設置
昭和 59 年(1984 年) 3 月	● 工業技術開発センターを廃止
4 月	● 機構改革が行われ、管理部、素材材一部、素材第二部、機械金属部、製品科学部の 5 部制。
平成 4 年(1992 年) 9 月	● 庁舎建物が全面改築
平成 5 年(1993 年) 4 月	● 機構改革が行われ、管理部、無機材料部、有機材料部、金属材料部、システム技術部、製品科学部の 6 部制
平成 13 年(2001 年) 4 月	● 長野県長野創業支援センターを設置

長野県精密工業試験場

昭和 32 年(1957 年) 4 月	● 庶務部、測定部、工作部、化学部の 4 部組織で、現在地にて業務開始
昭和 59 年(1984 年) 4 月	● 管理部、測定部、加工部、化学部、電子部の 5 部制に組織改正
昭和 63 年(1988 年) 10 月	● 建物全面改築工事が完成し、竣工式
平成元年(1989 年) 4 月	● 管理部、測定部、加工部、化学部、電子部、半導体部の 6 部制に組織改正
平成 9 年(1997 年) 4 月	● 創業支援センター完成

平成 13 年(2001 年) 4 月	● 創業支援センターが岡谷創業支援センターに改称
------------------------	--------------------------

### 長野県情報技術試験場

大正 5 年(1916 年) 11 月	● 繊維技術に関する試験研究を目的とする工業試験場の設置を県会で議決
大正 7 年(1918 年) 10 月	● 試験研究業務開始
昭和 16 年(1941 年) 4 月	● 長野県松本工業試験場と改称
昭和 24 年(1949 年) 4 月	● 長野県繊維工業試験場と改称
昭和 43 年(1968 年) 4 月	● 現在地に庁舎を新築移転し、業務開始
昭和 59 年(1984 年) 4 月	● 機構改革により長野県情報技術試験場と改称
昭和 61 年(1986 年) 3 月	● 情報棟完成
平成 7 年(1984 年) 4 月	● 組織規則の改正により、管理・ソフト開発・生産システム・設計技術・デザイン・繊維科学の 6 部制となる。
平成 14 年(1995 年) 4 月	● 組織規則の改正により、管理・ソフト開発・生産システム・設計技術・デザイン・繊維木工生活科学の 6 部制となる。
平成 14 年(1995 年) 10 月	● 付置機関として、松本創業支援センターを開設

### 長野県食品工業試験場

昭和 45 年(1970 年) 4 月	● 醸造試験場と園芸試験場の農産加工部門を統合して、長野県食品工業試験場を設立。庶務部、醸造第一部、醸造第二部、食品第一部及び食品第二部の 5 部制となる。
昭和 45 年(1970 年) 5 月	● 現在地に移転
昭和 59 年(1984 年) 4 月	● 組織改正により、管理部、発酵食品部、加工食品部、生物工学部及び食品開発部の 5 部制となる。